

評価項目	評価員からの意見	今後の対応
1 学校経営 2 学科運営	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な視点から細やかな分析がなされている。「学校経営・運営」、「入学・卒業対策」等で卒業生交流会などを盛り込んだことも理解した。 ・複数の評価の実施、分析、公表がなされたことは大変良い。今後は課題をより明確にし、具体的な対策と計画、実施される中で、経年的な比較、評価がなされ、改善、解決を進められるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年(令和元年)度より多角的な評価を開始したことで、課題を明確にすることができた。今後も継続的に評価しながら、改善・向上に取り組んでいく。
3 入学・卒業対策	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の就業後の看護実践状況の把握のための病院訪問において行った聞き取り調査の結果を受けて、就職支援の指導方法を変化させてほしい。 ・入職者の看護実践状況と課題を見出す方法として、退職者の状況や指導者の思いだけでなく、客観的に評価できる指標が必要。 ・卒業生交流会に参加できない人や途中で離職した人のフォローアップをお願いしたい。 ・急性期病院に適応できず離職する人には、他の分野にまで視野の幅を広げて就業を支援して欲しい。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大もあり、卒業生交流会が延期となっているが、新人指導において施設ごとの違いがあったら知りたい。他施設に就業した新人との違いは何かあるか。 ・今後も学校と連携をとっていくので、引き続き卒業生の支援をお願いしたい。 ・実習は受け入れているが実習生と関わる期間が短く、学生の現状を把握していないが、在宅看護を目指す学生の育成をしてほしい。 ・個人の問題もあるため、教員だけのせいではないと思います。どこまで学校側が責任をとるのか難しいところだと思う。 ・きめ細やかな対策・支援がなされていると感じた。 ・学生のレディネス(学習の成立にとって必要な「前提となる知識や経験」。それらの準備状態のこと。)の変化に対応できているか評価をもとに変更・修正されることを期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職先選択については、全教員で情報共有しながら、学生個人に合わせた選択ができるような指導・助言を行う。 ・就職先の聞き取り調査については、当校の評価表、評価基準を作成し、客観的に評価できるようにしていく。 ・卒業生には、就職先と情報交換しながら引き続き支援を行う。更に離職者には、次に向けて視野を広げた選択ができるような働きかけをしていく。 ・コロナ感染症拡大で延期になっている卒業生交流会は、地域の感染状況を確認しながら実施時期を検討する。また、集合形式で実施困難と判断する場合は、リモートでの参加や、個別での対応、電話・メール等での状況の確認等も検討していく。 ・優秀な入学生の確保、卒業生の支援については、学校に求められていることを常に確認しながら、各種対策を行っていく。
4 学生生活への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学生数の推移をみると1年次の退学や進路変更が目立つし、卒業後の退職も多い。将来像を見出せない学生も多いのではないかな。 ・学生が育ちにくい現状がある。日常生活全般でバーチャルなものが増えてきている現在、現実とのギャップに悩み迷うのではないかな。そのような中、臨地で患者と関わる時間や看護師の思考を学ぶ機会は大変貴重で意義がある。また職業観が育てられず、何に向かうか自分自身で把握できない学生たちに対して、我々がしようとしている教育の中身を伝えていく必要がある。 ・この学校では教員の支援が充実しており、個々への対応もしっかりとなされているので卒業生として感謝している。 ・卒業生としては、私たちの時代と比べると、充分支援していただいていると思う。 ・「社会人基礎力」も取り入れておられると思いますが、基礎学力や技術力だけでなく、「社会人になる」「働く」ということの厳しさも伝えていただけると良いかと思う。 ・メンタル支援の課題があるが、人格形成において基礎教育を終えて入学しているわけで、いち学校の教育体制の問題ではないと感じる。これは教員の方の過重労働にも繋がる、大きな課題。 ・きめ細やかな対策・支援がなされていると感じた。 ・学生のレディネス(上述)の変化に対応できているか、評価を基に変更・修正されることを期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時から学生一人一人の思いに寄り添いながら、自分の将来が描けるように関わっていく。 ・講義、技術演習にシミュレーション教育を取り入れるなど、状況に応じた判断力の育成に努めていく。 ・「社会人基礎力」については、1年次から3年間を通して、キャリア支援について考えられるような時間を計画的に作ることにより、育んでいく。 ・継続的にアンケートを実施したり、日頃の学生の意見等を救い上げながら、学生が求めている環境や活動について明確にしていく。さらにどんな支援が必要なのかの検討を継続していく。 ・学資や生活費の確保が必要な学生の相談にもきめ細かく対応し、奨学金や授業料等の減免を希望する場合には、引き続き申請を支援していく。

5 教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・育成も必要と思いますが、教員の確保(実習担当など)も重要。もっと増員されると、各教員に余裕が出てくると思います。(経費の関係で難しいところもあると思うが) ・ICTの導入に向けた取り組みが積極的になされるとよい。 ・先生方のストレスも大きいと思わるので、上手く発散して教育に携わって欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き教員の欠員補充や増員要求をしていく。 ・ICT導入に向けて、環境や機器の整備予定は立ちつつあるが、それらを効果的に活用し教育するスキルは不十分なため、研修への参加を進めていく。 ・他教員の教育方法を学び、自分の教育方法を振り返ることで、教育の質の向上につなげられるよう、学校内での授業参観を進めていく。 ・複数の教員でグループを作り、より効果的な授業に向けて授業研究を行っていく。
6 管理運営 ・財政	<ul style="list-style-type: none"> ・県の組織という管理の下で難しいところもあると思いますが、県の方とのパイプを太くし、あらゆる補助を見つけ出していきたい。 ・情報等の安全管理、災害対策等、社会情勢の変化に合わせたルールの見直し、再整備を進められるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価員の意見、学生のアンケート結果を基に、必要な設備、備品等を検討し、予算要求していく。 ・防災訓練の方法の見直し、防災マニュアルやICT教育における個人情報取り扱いマニュアルの策定についての検討を進めていく。
7 施設設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面は私が卒業したままです。学生のアンケートにもあったように、多くの課題が残されている。ここは本当に大変ですが、ホワイトボードに変更したように、できることからお願いしたい。 ・ソフト面での体制充実に向けた取り組みは最大限行われているようでした。コロナ渦であることも鑑み、今後もICTの推進に向けた取り組みをお願いしたい。 ・予算に頼らず、助成や補助金を使えるような道はないのか、工夫してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度4月には1年生の学習机を更新し、全学年の更新が完了した。20台しかなかった学生用コンピューターを40台に増備した。(対応済み) ・学生の意見が多かった、図書室の充実については、今年度購入予算を倍増し、現在、順次購入手続き中。次年度からも新刊本等が購入できるように、学内で検討していく。 ・図書の管理方法について、他学校の司書に相談したり、業者に話を聞くなど準備を進めており、次年度に向けて検討を続けていく。 ・コロナ対策の一環としてICT環境の充実が大きな課題であるが、Wi-Fi環境の整備、iPad・電子黒板などの購入等は年度内に整備を予定している。 ・今年度はリモートによる実習オリエンテーションや実習カンファレンス、更に一部の外部講師による遠隔授業も実施しており、引き続き遠隔授業の導入を進めていく。 ・学生の意見を聞き、できることから少しずつ改善を進めていく。また、諦めずにいろいろな場面で、現在の教育環境に合っていないことを県の関係部署へ訴えていく。
8 社会貢献 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの充実、ボランティア活動については、より多くの学生(受験生、卒業生を含む)の意見が反映されると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実については、入学生・在校生からの意見も多いため、ホームページ委員会を中心に学校全体で取り組んでいく。学校の様子がわかる写真等を多く取り入れる工夫をしていく。 ・ボランティア活動については、地域貢献、地域住民との交流を含めて、自ら活動できるよう1年次から働きかけていく。